

尾張一宮 P A スマートインターチェンジ（仮称）地区協議会

設立趣意書

一宮市と岩倉市は、両市域を東西に名神高速道路が貫いており、東海北陸自動車道と接続する一宮 J C T が存し、中央自動車道と接続する小牧 J C T にも程近く、さらに、名古屋高速 16 号一宮線や国道 22 号などがある交通の要衝です。また、日本のほぼ中心に位置し、物流拠点に最適な立地となっていることから、中部の産業・物流を支える役割が期待されている地域です。

両市境にある尾張一宮 P A 周辺は、既に多くの企業が進出しているだけでなく、一宮市では、都市計画マスタープランにおいて名神高速道路の北側を産業拠点として位置付けており、スマート I C を活用した産業・交流機能の立地誘導を図るため、土地区画整理事業による整備検討が進められています。また、名神高速道路の南側に位置する岩倉市では、市内最大級の工業用地に広域配送・中継輸送に優れた大型物流施設が 2024 年 5 月に竣工を迎えたことに加え、スマート I C を産業展開の受け皿とした新たな都市形成ゾーンの位置付けなど、将来のまちづくりを見据えた都市計画マスタープランの見直しを進めています。

しかしながら、尾張一宮 P A 周辺の最寄り I C である名神高速道路一宮 I C への主要なアクセス経路では、交通集中による慢性的な渋滞が発生しており、産業活動における定時性・速達性が損なわれています。また、一宮 I C 周辺の小中学校指定の通学路は、両市内外から来る大型車交通が輻輳しており、周辺的生活道路への通過交通の流入も確認されていることから、交通安全上の地域課題となっています。

これらの課題に対し、スマート I C を整備することで、周辺地域の高速道路へのアクセス時間短縮による利便性向上が図られ、物流の効率化や企業の生産性の向上が期待されます。さらに、尾張一宮 P A 周辺地域のポテンシャルを最大限活用した産業基盤の形成による地域経済の活性化に大きく寄与します。また、スマート I C により適切な交通転換が図られ、渋滞緩和や交通安全性の向上などの効果が期待されるだけでなく、災害時における物資輸送や救助活動での地域拠点間のアクセス性の向上、多重性の確保による防災機能の強化等への波及効果も期待されます。

このため、国土交通省、愛知県、愛知県警察、中日本高速道路株式会社及び一宮・岩倉両市が連携して、スマート I C の設置に向け、必要な検討・調整を行い、供用後も継続して、社会便益・安全性・利用交通量・管理・運営形態等について、定期的にフォローアップし、必要に応じ見直すことを目的として、「尾張一宮 P A スマートインターチェンジ（仮称）地区協議会」を設立するものです。

2025 年 9 月 26 日

一宮市長 中野 正康

岩倉市長 久保田 桂朗